

MITSUBISHI

ネットワークカメラ 形名

NC-4085

据付工事説明書

(販売店・工事店さま用)

安全のために必ず守ること	2
据付上のお願い	2
構成	4
据付上の注意	5
据付の前に	6
据付方法(カメラ固定金具の取付け)	7
据付方法(カメラ本体の取付け)	8
その他のご注意	9
据付工事後の確認	10
試運転	10



警告

据付工事は、販売店または専門の工事店が実施してください。
間違った工事は、故障や事故の原因になります。
据付工事部品は必ず付属部品および指定の部品をご使用ください。
当社指定部品を使用しないと故障の原因となります。

SM-Y7738B

U871Z111001B

©2006 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHT RESERVED

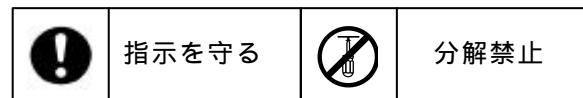
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

安全のために必ず守ること

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この工事説明書及び取扱説明書の「安全のために必ず守ること」をよく読んで、注意事項を必ず守ってください。また、以下の事項は、安全のために必ず守ってください。

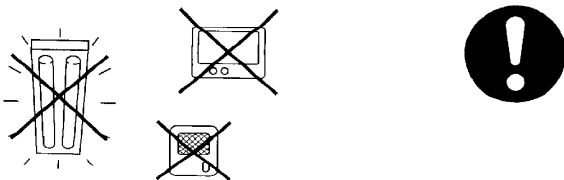
1. 工事されるときは、接続機器類の電源プラグを必ず抜いてから行ってください。万一の感電防止のためお願いします。
2. 工具は適合したものを使用してください。
3. 据付場所が高い場合は、頑丈な据付台（手すり付き）から作業してください。

本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。



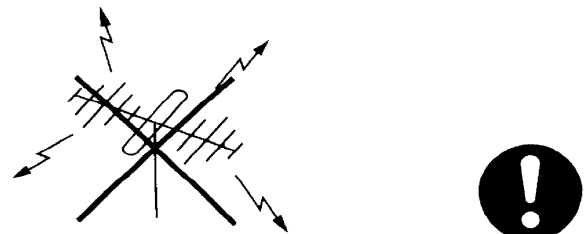
据付上のお願い

本機の据付やLANケーブルの配線に際して電力線、電力機器、蛍光灯等が近くにある場合、それらから発生するノイズにより通信データの伝送ロスが頻繁に発生する場合があります。本機、LANケーブルはノイズ源から離すようにしてください。



テレビやラジオの送信アンテナ、モータやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、通信データの伝送ロスが頻繁に発生することがあります。このような場合は、薄鋼電線管を設けて配線してください。

2系統以上のシステム構成のときは、システム毎に電線管を設けてください。



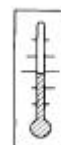
取付場所はカメラの質量に十分耐える所を選んでしっかり固定してください。化粧合板、石膏ボード、プレスボード等への取付けは本書の設置方法を必ず守ってください。

カメラを取付けた後、カメラに手をかけたり、ぶらさがったり、足でふまないでください。また、車載など振動の激しい場所には設置しないでください。



カメラは、設置する周囲温度が 10 ~ +50（カメラ通電時）、湿度は 90% 以下（結露しない場所）でご使用ください。

特に調理室やボイラー室など温度や湿度の高い所での使用は、性能を低下させますので離れた位置でご使用ください。



LANケーブルの最大延長距離をお守りください。カメラ、HUB、PCなどの間は100m以下で配線してください。
また、HUBにはスイッチングHUBを使用するようにしてください。



LANケーブルに過度な引っ張り荷重をかけないようにしてください。“より”のバランスが崩れ、性能が出なくなる場合があります。



LANケーブルは、まっすぐ、ねじれないように配線してください。曲げる場合には、曲げ半径がケーブル直径の4倍以上になるようにしてください。



複数のLANケーブルを束ねるときは、ケーブルタイをきつく締め付けしないでください。きつく締めるとケーブル性能が劣化し、本来の性能が出ない場合があります。



配線管を使用する場合は、最大充填許容範囲を超えないようにしてください。おおよそ配線管断面の40%以内とし、配線管が曲がっている場合は、1箇所の曲げにつき15%程度減少させてください。



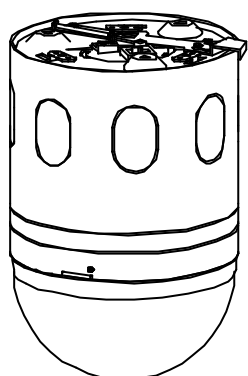
本機の内部にさわったり、改造すると火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼を。



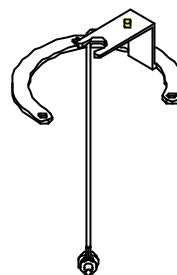
構成

- 1 . NC - 4 0 8 5 形カメラ本体 (カメラ固定金具含む) ----- 1
- 2 . 天井取付金具 (安全ワイヤ付) ----- 1
- 3 . カメラ取付ネジ (M 5 X 5 0) ----- 3
- 4 . カメラ取付ネジ用平ワッシャ (M 5 用) ----- 3
- 5 . カメラ取付ネジ用スプリングワッシャ (M 5 用) ----- 3
- 6 . フェライトコア ----- 1
- 7 . 取扱説明書 / 据付工事説明書 ----- 1

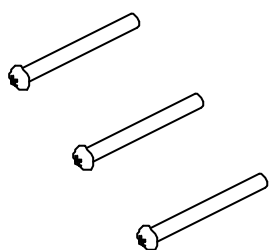
* LANコネクタは付属していません。



NC - 4 0 8 5 形カメラ本体



天井取付金具



ネジ (M 5 X 5 0)



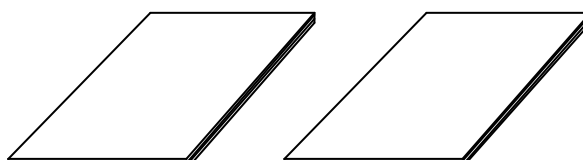
平ワッシャ
(M 5 用)



スプリング
ワッシャ (M 5 用)



フェライトコア

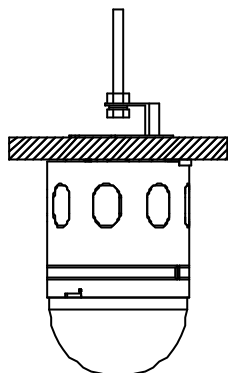


取扱説明書 / 保証書
(S M - Y 7 7 3 7)

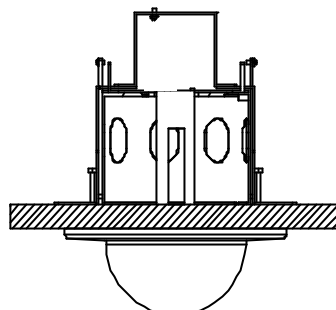
据付工事説明書 (本書)

据付上の注意

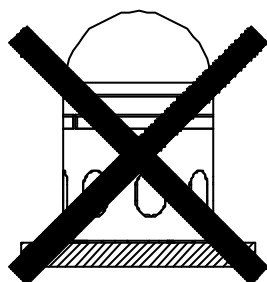
本機は天井に直接取付ける場合と、天井埋込みユニット（K-9750 別売）を使用して天井に埋込んで取付ける場合の2通りの設置ができます。



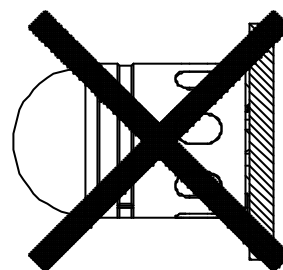
天井に直接取付ける場合



天井に埋込む場合



据置き



直接壁面に取付ける

据置き、直接壁面には取付けできません

本機は十分に強度をもった場所に取り付けてください。化粧ボード、石膏ボード、プレースボード等への取付けは本書の設置方法を必ず守ってください。

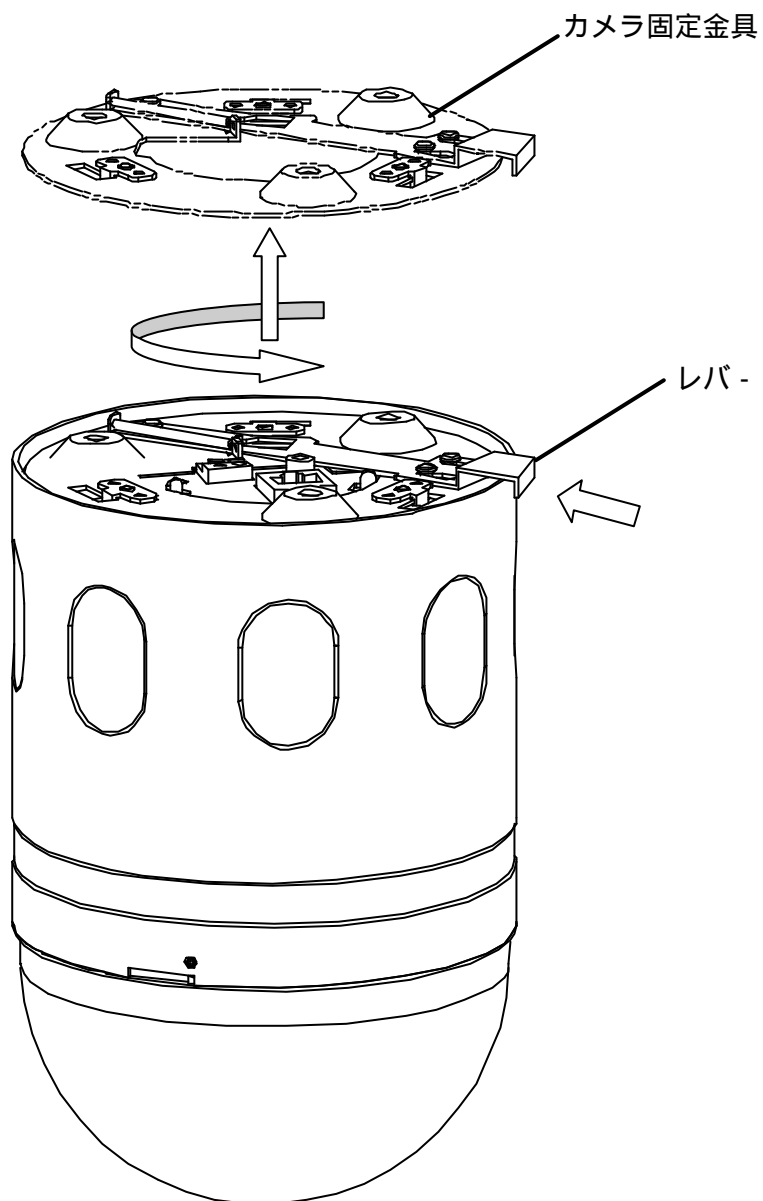
取付強度が不足していると、モニター上の映像がぶれたり、最悪の場合落下の危険があります。

エアコンのダクトやエレベータの付近など振動のある場所で、ズームを高倍率にすると映像がぶれる場合があります。振動のある場所への設置は避けてください。

据付の前に

カメラを設置する前に、カメラ固定金具をはずしてください。

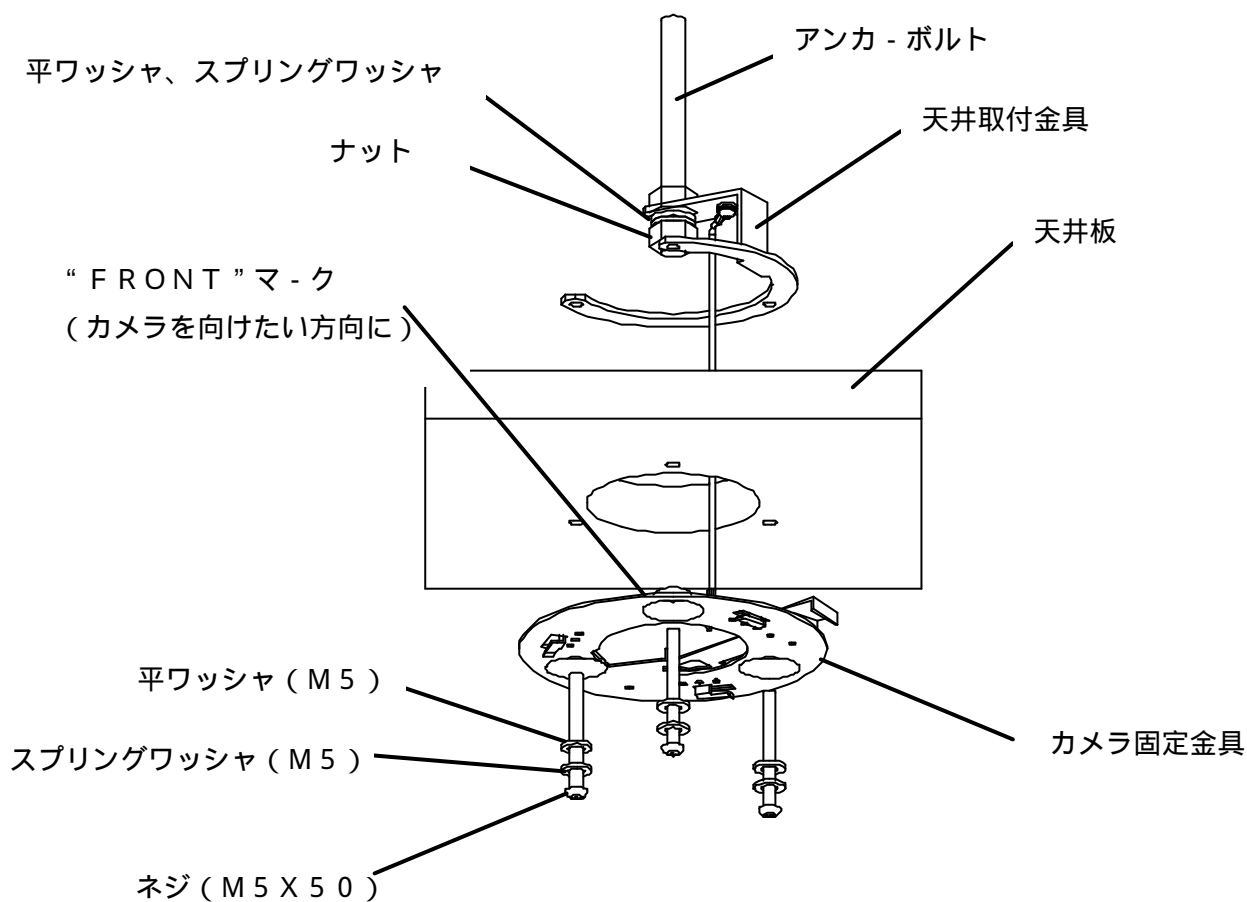
1. 本体のレバーを の方向に押します。
2. 本体のレバーを押したまま、カメラ固定金具を 方向に回転させ、はずします。



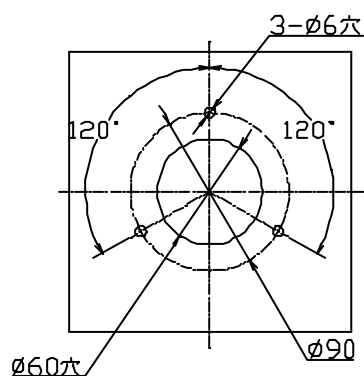
据付方法（カメラ固定金具の取付け）

☞ 天井に直接取付ける場合

1. カメラ固定金具のネジ穴に合わせ天井に 6 の穴を開けます。（3ヶ所）
また、LAN ケーブルが天井裏を通るため、天井に配線用の穴（ $\phi 60$ ）を開けます。（下図の天井加工寸法を参照願います）
2. 天井裏の鉄骨等よりアンカ - ボルト（別途購入）を吊り下げ、天井取付金具に固定します。
3. 天井取付金具とカメラ固定金具は天井板を挟んだ状態でネジにて取付けます。カメラを向けたい方向（センタ - ）にカメラ固定金具の“FRONT”マ - クがくるように取付けます。



(天井板加工寸法)

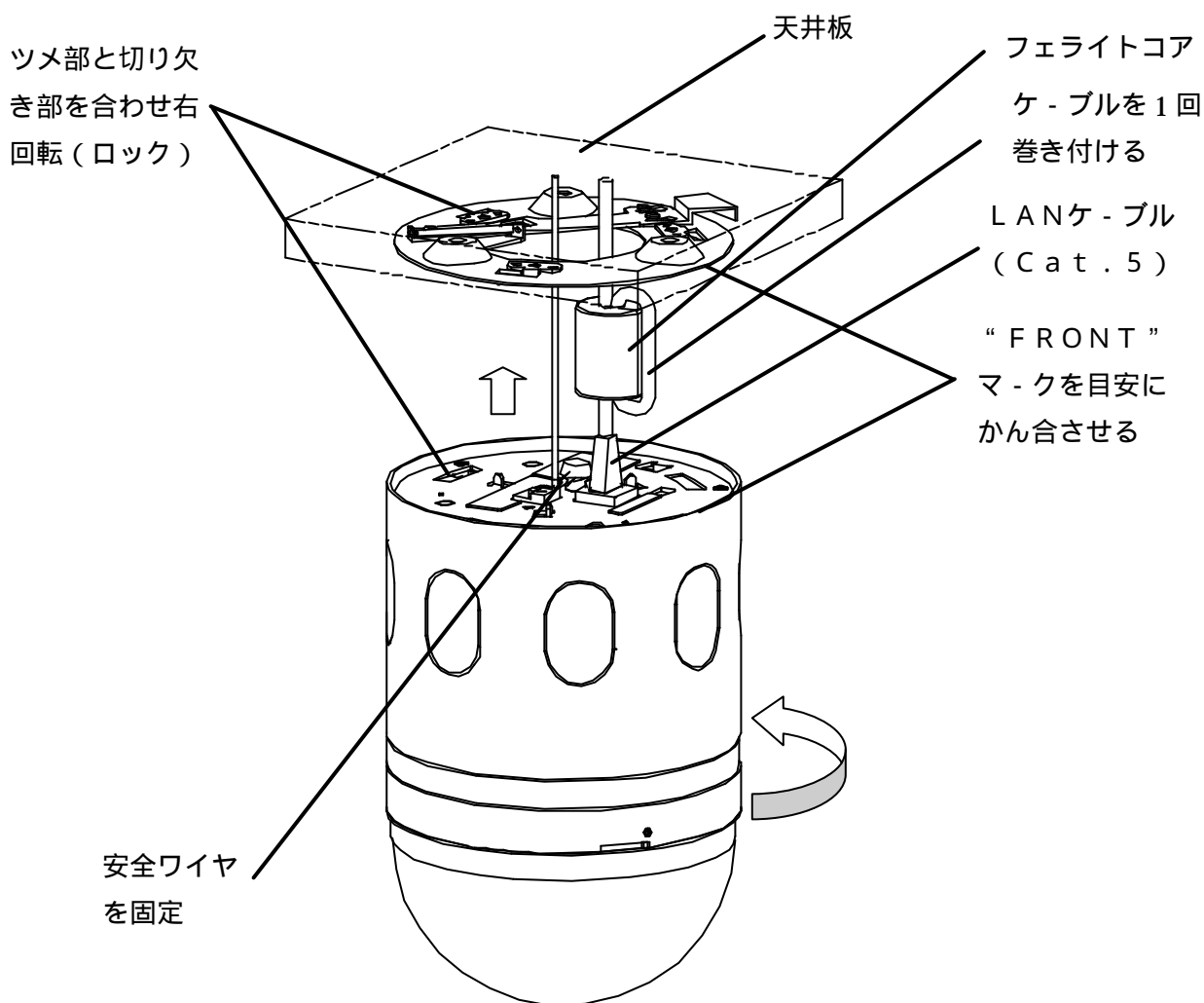


注意

天井に十分な強度があることを確認してから施工してください

据付方法（カメラ本体の取付け）

1. 安全ワイヤを本体に固定します。
2. LANケーブルに付属のフェライトコアを1回巻き付け、カメラに接続します。
 - * LANケーブルはCat. 5以上のものを使用してください。
 - * LANケーブル接続の際、コネクタに大きな力を加えないでください。
3. カメラ固定金具のツメ部と本体の切り欠き部を合わせロック位置まで本体を 矢印方向に回転させます。



* カメラを取りはずす際は、カメラ固定金具に付いているレバ - を押しながら本体を 矢印と逆方向に回転させます。



警告

必ず接続機器の電源を切って作業すること。

必ず安全ワイヤを取り付けること。

その他のご注意

ドームカバー（スモーク K - 9751）への交換や、傷等でドームカバーを交換する際は必ず次の手順でドームカバーの取り外し、取付けを行ってください。

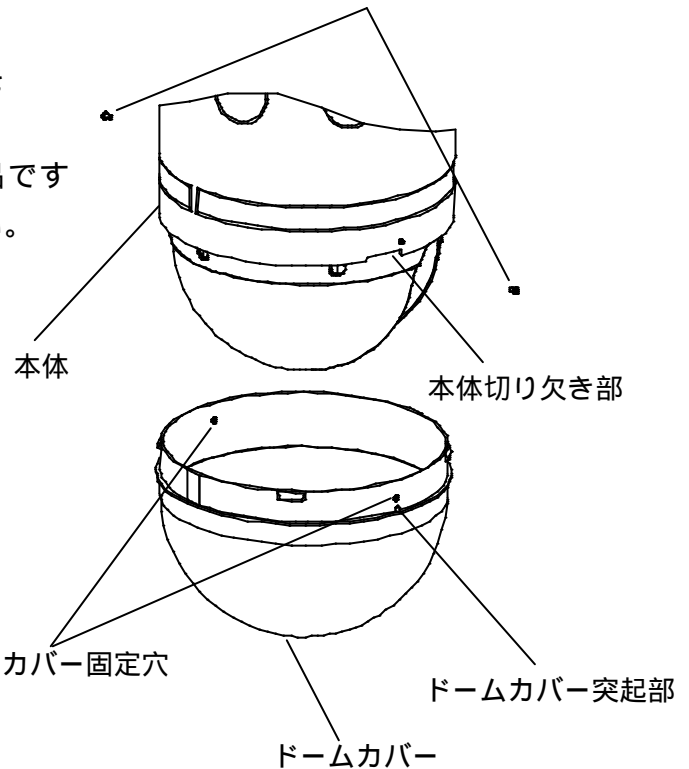
取り外し方法

ドームカバー固定ネジ（2ヶ所）をはずします。

ドームカバーを左にまわしてから、下方向に引き抜きます。

- * 固定ネジには専用の精密機器用ねじ回しを使用してください。
- * ドームカバー固定ネジは非常に小さな部品ですので、なくさないように注意してください。
- * 付属のネジ以外は使用しないでください。回転動作が正常に行われない場合があります。

ドームカバー固定ネジ M2 X 3
(精密機器用 0 番なべ小ネジ 1 種)



取付け方法

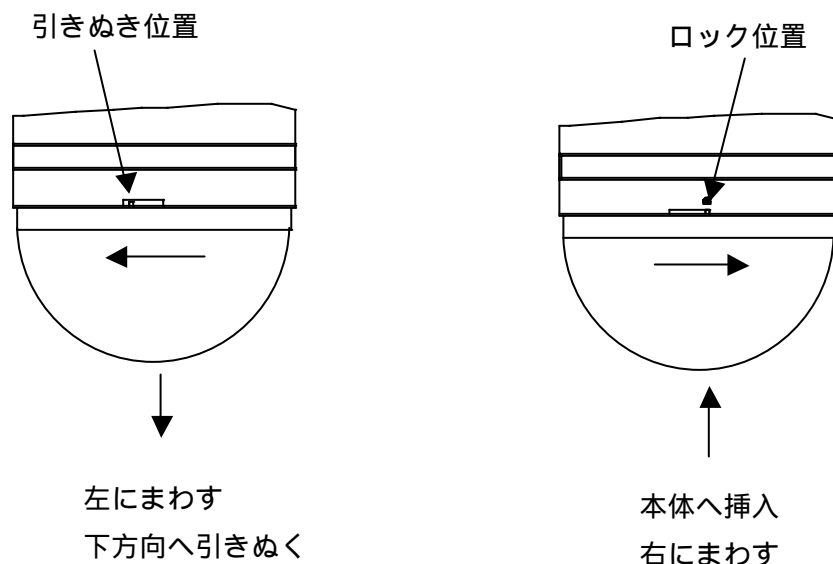
ドームカバーの突起部と本体切り欠き部を合わせて本体に挿入します。

ドームカバーをロック位置まで右にまわします。

ドームカバー固定ネジを取付けます。

- * ネジを固定する際にはドームカバーがロック位置にあることを確認してください。
- * ドームカバー固定ネジは必ず取付けてください。ドームカバーが落下する場合があります。

必ずドームカバーの突起部と本体切り欠き部を合わせて本体に挿入してください。他の位置で挿入するとドームカバーが破損する場合があります。



据付工事後の確認

据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら、必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

☞☞ 安全性に係わる事項

No .	項目	判定
1	金属類や燃えやすいものを内部に入れていないか。	YES NO
2	他のものを上に置いていないか。	YES NO
3	指定のアプリケーションまたは専用機を使用しているか。	YES NO
4	ケースをはずしたり、改造したりしていないか。	YES NO
5	衝撃、振動のある所に設置していないか。	YES NO
6	据付場所は、カメラの質量に十分耐えられるか。	YES NO
7	据付場所に合った据付ネジを使用しているか。	YES NO
8	ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしていないか。	YES NO
9	ケーブル接続部のコネクタは、しっかりと取付けられているか。	YES NO
10	ケーブル加工は、きちんと行われているか。	YES NO
11	直射日光の当たる所や熱器具のそばに設置していないか。	YES NO

☞☞ 性能・機能に係わる項目

No .	項目	判定
1	使用場所の周囲温度・湿度は規格内か。（ - 10 ~ 50 90%以下）	YES NO
2	LANケーブルの近くに電力、アンテナケーブルが配線されていないか。	YES NO
3	カメラとHUB、PC等の間のLANケーブル長は100mを超えていないか。	YES NO

試運転

☞☞ 試運転は、お客様及び販売店の立ち会いのもとで行ってください。

☞☞ 別冊の取扱説明書の基づいて、操作手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店からご説明ください。特に、「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。



コミュニケーション・ネットワーク製作所

郡山工場 TEL(024)932-1220(大代表)

〒963-8586 福島県郡山市栄町2番25号

©2006 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHT RESERVED

2006年3月作成